

玉城流喜天の会 宇夫方路琉球舞踊研究所



主宰の宇夫方 路は岩手県出身。日本舞踊をやっていたが琉球舞踊に出会い、関りえ子に師事。国内外の様々な舞台上で踊る。1996年に琉球新報琉球古典芸能コンクール舞踊部門新人賞を受賞。その後優秀賞、最高賞を受賞し、08年に教師免許を取得。宇夫方路が所属するM.A.P.で、琉球舞踊教室を開設。また厚木などのカルチャーセンターで講師を務め、14年に研究所を狛江市で立ち上げる。M.A.P.が企画会社であるため、研究所のメンバーは数多くのイベントに参加する機会に恵まれている。今回、地謡はM.A.P.代表の高山正樹、他が務める。

鮑捷 BAO JIE



中国天津出身。8歳から琵琶を学び始める。天津音楽大学付属中学校の入試では、琵琶の専攻でたった一人の国費学生として合格。天津音楽大学琵琶本科を卒業後、音楽サークル「天津大学北洋芸術団」の琵琶講師として活躍。2002年来日。04年東京学芸大学大学院では芸術教育を修め、07年卒業。10年、アルバム「変わるもの変わらないもの」を発売。その後も各地で公演、近江楽堂でのクラシックギター、フラメンコギターと琵琶の共演は評判を呼んだ。「見えぬものでもあるんだよ 金子みすず よみがえり 25年の軌跡」に出演。日中合作アニメ「三国演義」完成発表会で演奏。

最近ではシンポジウム「阿倍仲麻呂 - 遣唐使」で演奏。NHK放送大学で160分の講演を行うなど活躍中。

東京朝鮮中高級学校 合唱部



朝鮮の民謡や合唱曲をメインにしながら、対外公演では日本語や英語の歌も披露する。

NHK全国学校音楽コンクールをはじめ日本の様々なコンクールに参加、朝鮮学校の芸術コンクールでは毎年金賞を受賞。歌を通じて朝鮮と日本、また北南朝鮮の親善の架け橋となるべく、東アジア文化フェスタなど様々な対外公演に積極的に参加している。

金オル KIM OL

1993年、在日学生芸術コンクール 伽耶琴独奏部門 金賞受賞。

2002年、韓国梨花女子大学 音楽大学 韓国音楽科卒業。同年、在外同胞競演大会 器楽部門金賞受賞。以降、「戦争より祭りを！」喜納昌吉、スティーブンセガールと共演、文化庁芸術祭参加楽劇「KONKICHI」出演、一般財団法人「高円宮記念日韓交流基金」顕彰式典にて献奏、日韓国交正常化50周年式典にて演奏等で活躍。

12弦、21弦、25弦伽耶琴をこなす数少ない奏者の一人。現在は日本を拠点に活動。キムオル伽耶琴教室主宰。東京韓国学校特技適正伽耶琴講師。駐日韓国文化院 世宗学堂 伽耶琴講座講師。



王晶 WANG JING

中国天津出身。5歳で二胡を学び始める。1999年、天津音楽学院に入学。在学期間中に「龍音国声奨学金コンクール」で優秀賞を受賞。2005年来日以来、日本全国の劇場、テレビなどさまざまな場所で演奏を行い、きわめて高い評価を得ている。

日韓国交正常化35周年記念コンサート、ベネッセチャンネル「イートハーヴ・幻想音楽紀行」に出演。シンセサイザー奏者の姫神と共演。上海万博観光客招致PR起動活動開幕式典でオープニング演奏を担当。日中合作映画「葉問」の音楽に参加。横綱白鵬関の激励会に出演。12年、森麻季、崔宗らと一緒に「New Year Concert」に出演。第4回中国音楽国際コンクールにて特等賞を受賞。15年宝田明ミュージカルに出演。2017年、フランス・リヨンオペラ座「二胡縁」コンサートに出演。



東京都立新宿高等学校 音楽部

無伴奏の女声合唱を主なレパートリーとして活動している。3月の定期演奏会をはじめとし、都高等学校文化連盟のの諸行事や、NHK、東京都合唱連盟のコンクール等に参加し、特に東京都合唱コンクールでは3年連続金賞を受賞している。その一方地域との結びつきも重視し、今年度も四谷ひろばでの四谷警察署主催高齢者輪投げ大会の閉会式や西新宿シニア活動館クリスマスコンサートにも出演した。



池辺晋一郎 (作曲家)



Profile 1943年生まれ。1971年東京芸大大学院修了。66年日本音楽コンクール1位。以後、ザルツブルクTVオペラ祭優秀賞、イタリア放送協会賞3度、尾高賞3度、毎日映画音楽賞3度、日本アカデミー賞優秀音楽賞9度、放送文化賞、紫綬褒章など。作品：交響曲10曲、オペラ10曲他。映画・演劇・放送音楽多数。著書多数。横浜みなとみらいホール館長、東京オペラシティ・ミュージックディレクター、石川県立音楽堂洋楽監督他。東京音大客員教授。世界平和アピール七人委員会委員。

Messages 窪島誠一郎さんと僕は、今強く主張しなければならないこと——私たちの憲法を守る、という一心から、この組曲を作りました。私たち国民は、憲法で保障された自由と権利を保持し（第12条）、この憲法を守らなければならない。これは、特別な主張ではなく、先の大戦でアジアの人たちにも自国民にも多大の犠牲者を持つ日本人として、誰もが共感できる当然の気持ちです。私たちは戦争を忌避し、平和を希求しつづけます。この音楽祭の成功を祈りつつ……。